

新しい教育課程と『新保健体育ワーク』

教材活用シリーズ 第 148 回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント（場面・方法）などをご紹介します。

あかつき教育図書(株)
保健体育科
『新保健体育ワーク』



あかつき教育図書(株)
書籍事業部 保健体育科

る」と、心身相関の教育的効果が特に強調され、学校体育教育にかかる期待は一層重く大きくなっていると感じます。私たちはその都度の改訂意図をふまえ、学校体育教育を支える教材の編集に取り組んで参りました。

2. 『新保健体育ワーク』の役割

改訂の「基本的な考え方」でも言及されるように、保健分野で学ぶ事柄は、どれもこれも生涯を健康に過ごすために「今、知っておかなければならないこと、考えなければならぬこと」と、やっておかなければならないこと」が扱われています。『新保健体育ワーク』保健編は、このような学習指導要領の考え方をふまえ、教科書の補助的な教材という殻を破り、さまざまな課題を自分自身の、あるいは家族の事案として主体的に考えることができるような構成を意図して編集いたしました。中学校で学ぶ教科はどれもこれからの生活に欠かせないものにはありますが、とりわけ保健分野で扱われる内容は、いずれこのさき生きていくなかで関心の大半を占めることになる「健康」問題に直結していることを理解してほしいという願いがあり、中学生期にさまざまな気づきを導く工夫をこらしました。

3. 『新保健体育ワーク』の構成

新しい教育課程で強調される「主体的、対話的で深い学び」は、これまで「知識の量と理解

1. 保健体育科の変遷と弊社保健体育教材の歴史

弊社の保健体育教材は、昭和30年代初頭に実技副読本として創刊した『図解中学体育』にはじまり、以来60有余年、学校体育教育の質的向上に資することを目的に発刊を続けて参りました。

この間10年の周期でくり返されてきた学習指導要領改訂の変遷を顧みると、それぞれの時代に我が国が直面してきた教育的課題を反映

していることを見て取ることができます。そのなかでも保健体育科は他教科に比べ社会的な様相の変容に大きく影響を受けながら、さまざまな試行錯誤があり今日に至っている感があります。特に保健分野においては健康や安全など、今そこにある社会的課題の問題解決への糸口となることが付託されるなど、時代のニーズにしたがってさまざまに変容してきました。そして今の学習指導要領はその改訂の基本的な考え方のなかに「体育・健康に関する指導の充実により、豊かな心や健やかな体を育成す

の程度」を教育の主眼とした教育の方針から大きな転換を図ったものといえます。保健分野でいえば、単に知っているという程度でこと足りるというレベルから、実際の生活のなかで役立つ、生かされることが「深い学び」であるといえるでしょう。教科書もこれまでの知識重視型から課題提示型に変容したことをふまえ『新保健体育ワーク』保健編は、主体的かつ対話的な学びの羅針盤的な役割を果たす構成を試みて編集いたしました。

保健編のページ構成は、単元を見開きの二頁で組み立て、タイトル横にイメージフォト、下に単元で学ぶ内容を簡潔に示しました。左頁の資料編は教科書に掲載がないもので、より実際の情報を提示しました。そして下段の「TIME OUT」コラムは、教科書の殻を破る話題提供を心がけ、中学生の目線で単元に係わるトピックを、主体的な思考を導き出すことができるよう組み立てました。

右頁は、これまで通り、「note」と「check」で構成。「note」は生徒の書き込み欄として、「check」は教科書理解の確認ドリルとして編集しております。教師用の朱書版では「note」部分に教科書の項目に沿った板書例が示されており、業務煩瑣な教師が手にするだけで円滑な授業展開ができるよう工夫しております。

「note」や「check」には含まれた形で無タイトルのスペースがあります。ここが今回の改訂のポイントで、単元に係わって主体的な思考を促す問いを提示してあります。例えば、第1学年の「心の発達」では「自分自身の記憶したり

考え判断したりする力や、感情の抱き方、意志の強さなどを自問しながら検証してみよう」というように、単元の学習内容を個人的な問題として問いかけています。この問いは、教科書にある「知的機能」「情意機能」「社会性」といった心のはたらかきの様相を理解した上で内省を促しています。つまり学びを「我がこと」として捉えるための機会を、この問いに託す形になっていきます。主体的な思考を促す問いは、3

5 心の発達 (1)
知的機能と情意機能の発達

◎私たちの身体的な成長は大人以上に発達していると学んだ。大人ほどの知識や感情はないが、喜怒哀楽などの感情は大人なみにあるように感じられる。脳で何が起きているのだろうか。

項目 1 大脳のしくみとその機能

項目 2 人間が覚えることばの数の推移

年齢	覚えることばの数
0歳	約100
1歳	約1000
2歳	約10000
3歳	約100000
4歳	約1000000
5歳	約10000000
6歳	約100000000
7歳	約1000000000
8歳	約10000000000
9歳	約100000000000
10歳	約1000000000000

項目 3 上から見た脳・下から見た脳

項目 4 脳に捨てられる「どうでもよい記憶」

note

◎自分の脳が記憶したり考えたりする力や、感情の抱き方、意思の強さなどを自分自身から検証してみよう。

check

1 心の発達と大脳

① 心は、知的機能、【 】機能、【 】などの働きが関わって成り立っており、こうした心の働きは、【 】で表されている。

② 思春期の大脳の発達について簡単に説明しよう。

2 知的機能の発達

③ 知的機能とはどのような働きか。

④ 知的機能が発達するとどうだろうか。

3 情意機能の発達

⑤ 情意機能には、悲しい、楽しい、腹立たしいなどの気持ちがある【 】や何かをしようとするときの気持ちの【 】などがある。

⑥ 意思とはどのように発達していくのか。

search 大脳の構造や働きについてより詳しく調べてみよう。

学年各単元に配しており、授業で活用することによって深みのある学びを可能にします。

最下段の「search」はこれまでの「TRY」を改訂したものです。「TRY」は、調べ学習の下地になる発問を提供していましたが、それを「search」と改題し、調べ学習とともに新教育課程で提唱される「対話的」な学びに役立つものとして新たに構成したもので、調査と生徒相互の対話を併せた学習を促します。

4. 新しい時代の保健体育科教育のために

教育の在り方や目指すものが大きく変容した新しい教育課程の基、保健体育科の学校教育も大きな転換が求められています。なかでも保健分野で扱う内容は、人間の「生き死に」に係わる課題でもあり、単に一時間の授業だけで終わらせる性格のものではないといえます。学習指導要領に「心肺蘇生術は各学年を通して学ぶべき内容」と示されているのは、それを単なる知識としてではなく、実践可能な「能力」として生徒たちが身につけることを期待しているからにはかなりません。生活習慣病、心の病、喫煙や飲酒の害、薬物の恐怖、感染症、性感染症、障害の防止、環境問題。こうした保健分野の学習内容は、私たちが生きている限り直面せざるを得ない社会的課題であり個人的課題です。『新保健体育ワーク』は、これらの課題を中学生がしっかりと認識し、問題を回避する知見を身につけることができるようになるための教材であると確信しています。